

第5・6学年 国語科学習指導案

第5学年

1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう

2 教材名 「ニュース番組作りの現場から」(説明文) 清水 建宇
「工夫して発信しよう」

3 単元について

(1) 児童について

読むことに関して、児童は前学年までの説明文で「段落」や簡単な「文章の構成」について学習してきた。段落毎に内容をとらえ、それをつなげたり比べたりすることを通して、文章全体の構成をつかむことができるようになってきている。5年上の説明文「サクラソウとトラマルハナバチ」では、文章の構成から中心段落をとらえ、要旨をまとめる学習をしてきた。児童全員が、キーワードや中心文からの的確に要旨をまとめ、筆者の主張を読みとり、自分の考えをもつことができ、読みとる力は非常に高い。書くことに関しては、身の回りの言葉に興味をもち、意味や使われ方を調べ、内容を整理してレポートにまとめることができた。

「一人学び」では、キーワードや中心文を見つけサイドラインを引いたり、要点をまとめたりすることを中心に行ってきた。読みの視点に沿って一人学びを行わせることにより、キーワードや中心文に着目しながら文章を読みとり、要点を簡潔にまとめることができるようになってきた。どの児童も時間内に一人学びを的確に終えることができ、要点をとらえたり、自分の考えをまとめて書いたりする力は十分にもっている。

「学び合い」では、自分の考えを発表したり、お互いの考えのよさについて話し合ったりすることを中心に行ってきた。学び合いを通して、自分の考えを発表するだけでなく、友達の意見を聞いて修正を加えるなど、考えを広めたり深めたりすることができるようになってきた。

児童数 5年 男子3名 女子1名 計4名
6年 男子4名 女子3名 計7名
指導者 鈴木 義 幸

第6学年

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

2 教材名 「平和のとりでを築く」(説明文) 大牟田 稔
「自分の考えを発信しよう」

3 単元について

(1) 児童について

読むことに関して、児童は前学年までの説明文で筆者の主張に興味をもって読みながら、自分の意見を持ち、話し合うということを学習してきた。文章の内容を事実と意見とに区別して読みとり、キーワードや中心文を押さえながら要旨をとらえることができるようになってきている。六年上の説明文「生き物はつながりの中に」では、これまでの説明文の学習で身につけた力を定着させつつ、筆者の考えに対して自分の意見を表明する学習をしてきた。中心段落や中心文に着目することによって、文章の構成や叙述の特徴を理解し、要旨をまとめることができた。しかし、個人差が大きく読みとる力は十分とは言えない。書くことに関しては、必要な情報を集めて選んだり、伝えたいことを効果的に表現するための方法を考えたりしてガイドブックにまとめることができた。

「一人学び」では、キーワードや中心文を見つけサイドラインを引いたり、書き込みをしたり、要点をまとめたりすることを中心に行ってきた。読みの視点に沿って一人学びを行わせることにより、キーワードや中心文に着目しながら文章を読みとることはできるようになってきたが、言葉に関連付けてとらえたり、自分の考えを簡潔にまとめたりする力は不十分である。

「学び合い」では、読みの視点をもとに、自分の考えを発表したり、お互いの考えのよさについて話し合ったりすることを中心に行ってきた。学び合いを通して、自分の考えを発表することはできるようになってきたが、友達の意見を聞いて修正を加えるなど、考えを広めたり深めたりすることができる児童は限られる。

(2) 教材について

第5学年及び第6学年の読むことの目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。書くことの目標は、「目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。」である。これを受けて本単元では、「文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。」「伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信する。」ことを主目標としている。

教材「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組の特集の作り方についてまとめた文章である。時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方等が分かりやすく整理されている。その点で本教材は、ニュース番組の作り方に関する情報提供としてだけでなく、時系列に沿って大事な事柄に注意して読みとる文章としても適した教材である。また、教材「工夫して発信しよう」は、「ニュース番組作りの現場から」で読みとったことを生かし、目的に応じた情報の配列・編集等についての理解を深める学習に適した教材である。

(3) 指導にあたって

「つかむ」段階では、ニュース番組の視聴経験をもとに感想を発表するとともに、題名やリード文、写真から想像を広げ期待感をもって教材文に臨めるようにしたい。その後、範読を聞き、初発の感想を交流し合い学習課題を設定する。そして、課題解決の見通しをもたせるために、文章の大まかな内容について考えさせる。

「ふかめる」段階では、ニュース番組の特集がどのように作られるのかを読みとるという目的意識をもたせ、各過程がどのようなねらいで行われているのかをしっかりとつかませたい。そのために、読みの視点に沿って文章構成と話題提示文、特集が作られる理由、番組作りの過程、番組スタッフの努力や願い、要旨について「一人学び」と「学び合い」を中心に読みとっていく。一人学びでは、時間の経過を表す言葉や番組作りの過程、各過程で大事なこと等にサイドラインを引いたり、ワークシートに書き込んだりする活動を通して、意味段落毎の内容をしっかりとらえさせたい。また、読みの視点を明示し、視点に沿って課題を解決できるようにさせたい。学び合いでは、読みとった内容や要点、要旨をお互いに発表し、話し合うことで自分の考えを確かめたり、友達の考えのよさに気づかせたりしたい。

「まとめる」段階では、特集が作られるまでの過程、努力や願い、要旨について振り返る。そして、私の特集というテーマに沿って、企画書を書き、読みとった内容を広められるようにしたい。

「ひろめる」段階では、学習のゴールや流れをしっかりとつかませ、見通しをもたせながら学習に取り組ませたい。「ニュース番組作りの現場から」で学習したことを生かし、話し合っで計画を立てる、必要な材料を集める、編集するという手順にしたがって、常に相手意識・目的意識をもたせながら情報を発信する方法について指導していきたい。

(2) 教材について

第5学年及び第6学年の読むことの目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。書くことの目標は、「目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。」である。これを受けて本単元では、「筆者が訴えたいことを読みとり、それについて自分の考えをもつ。」『『平和』』についてさらに考えるために調べたり話し合ったりし、深まった考えを分かりやすく組み立てて書いて交流する。また、今後も考え続ける意欲をもつ。」ことを主目標としている。

教材「平和のとりでを築く」は、原子爆弾によって「傷だらけ」となった物産陳列館が、多くの人々の平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。日本人としてぜひ知っておきたい史実と、それが“世界”の“遺産”となった意味についての筆者の考えを丁寧に読みとることにより、いかに多くの人々が、現在において「平和」を希求しているかが分かり、自分自身の問題として「平和」について考えることに適した教材である。また、教材「自分の考えを発信しよう」は、「平和のとりでを築く」で読みとったことをもとに、「平和」というテーマに関わる多様な情報を集め、自分なりの考えをもち、そして発信していく学習に適した教材である。

(3) 指導にあたって

「つかむ」段階では、戦争や平和について知っていることや思っていることを発表するとともに、題名やリード文、写真を手がかりにして、興味や関心をもって教材文に臨めるようにしたい。その後、範読を聞き、初発の感想を交流し合い学習課題を設定する。そして、課題解決の見通しをもたせるために、文章の大まかな内容について考えさせる。

「ふかめる」段階では、筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えるという課題意識を常にもたせ、原爆ドームがたどった歴史と平和を願う筆者の思いをしっかりとつかませたい。そのために読みの視点に沿って文章構成と話題提示文、原爆ドームがたどった歴史、世界遺産への道のり、筆者の伝えたいことについて「一人学び」と「学び合い」を中心に読みとっていく。一人学びでは、時を表す言葉や保存、世界遺産に関連する言葉、筆者の伝えたいこと等にサイドラインを引いたり、ワークシートに書き込んだりする活動を通して、意味段落毎の内容や中心文をしっかりととらえさせたい。また、読みの視点を明示し、視点に沿って課題を解決できるようにさせたい。学び合いでは、読みとった内容や筆者の伝えたいことについて話し合うことで、自分の考えを確かめたり、友達の考えのよさに気づかせたりしたい。

「まとめる」段階では、筆者の伝えたいことに対して、根拠を明らかにしながら自分の考えをまとめさせていく。さらに、書きまとめたものをもとに話し合うことで、戦争や平和について考えを広めたり、深めたりできるようにしたい。

「ひろめる」段階では、学習のゴールや流れをしっかりとつかませ、見通しをもたせながら学習に取り組みさせたい。「平和のとりでを築く」で学習したことをもとに、「平和」というテーマに関わる多様な材料を集め、自分なりの考えを深め、発信することができるように、常に問題意識・目的意識・相手意識をもたせながら指導していきたい。

4 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・自分が必要とする情報を進んで読みとろうとする。
- ・ニュースを探して伝えることに関心を持ち、伝え方や内容を工夫しようとする。

(2) 読む能力

- ・自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序にしたがって段階ごとに読みとることができる。 (読むこと オ)
- ・番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読みとることができる。 (読むこと イ)

(3) 書く能力

- ・自分が伝えたいこと、相手が知りたいことなどを考えて発信することができる。 (書くこと ア)
- ・編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理することができる。 (書くこと イ)
- ・集めた材料を、目的に合わせて整理し、加工して伝えることができる。 (書くこと エ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

- ・文章の構成について理解することができる。 (言語事項 オ(ア))

5 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・自分が必要とする情報を進んで読みとろうとしている。
- ・ニュースを探して伝えることに関心を持ち、伝え方や内容を工夫しようとしている。

(2) 読む能力

- ・自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序にしたがって段階ごとに読みとっている。 (読むこと オ)
- ・番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読みとっている。 (読むこと イ)

(3) 書く能力

- ・自分が伝えたいこと、相手が知りたいことなどを考えて発信している。 (書くこと ア)
- ・編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理している。 (書くこと イ)
- ・集めた材料を、目的に合わせて整理し、効果的に配列しながら書いている。 (書くこと エ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

- ・文章の構成について理解している。 (言語事項 オ(ア))

4 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読もうとする。
- ・「平和」について考えを深めるために、進んで話し合ったり、書いたりしようとする。

(2) 読む能力

- ・「平和のとりでを築く」という題名が意味することに注意しながら読むことができる。
(読むこと イ)
- ・筆者の考えをまとめ、「平和」について自分はどのように考えるかをまとめることができる。
(読むこと エ)

(3) 書く能力

- ・「仮の要旨」から「確定した要旨」への過程で必要な材料を選び、直すことができる。
(書くこと イ)
- ・自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考えることができる。
(書くこと ウ)
- ・事実と意見を区別して書いたり、対立する意見を取り上げて反論を述べたりすることができる。
(書くこと エ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

- ・文章にはいろいろな構成があることを知り、その効果を考えることができる。
(言語事項 オ (ア))

5 単元の評価規準

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読もうとしている。
- ・「平和」について考えを深めるために、進んで話し合ったり、書いたりしようとしている。

(2) 読む能力

- ・「平和のとりでを築く」という題名が意味することに注意しながら読んでいる。
(読むこと イ)
- ・筆者の考えをまとめ、「平和」について自分はどのように考えるかをまとめている。
(読むこと エ)

(3) 書く能力

- ・「仮の要旨」から「確定した要旨」への過程で必要な材料を選び、直している。
(書くこと イ)
- ・自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考えている。
(書くこと ウ)
- ・事実と意見を区別して書いたり、対立する意見を取り上げて反論を述べたりしている。
(書くこと エ)

(4) 言語についての知識・理解・技能

- ・文章にはいろいろな構成があることを知り、その効果を考えている。
(言語事項 オ (ア))

6 指導計画 (14時間)

| 段階 | 時間 | 学 習 活 動 | 一人学び | 学び合い | 具体的評価規準(評価方法) |
|-----|-----|---|---|---|---|
| 第一次 | 1 | ・テレビのニュース番組を見た経験をもとに、その感想を發表し合う。 ・全文を通読し、初発の感想を書く。 ・学習計画を立てる。 | 初めて知ったことや興味をもったことを感想として書く。 | 初発の感想をもとに、学習計画について話し合う。 | ・身の回りからニュースを探して伝えることに興味をもち、教材文を読んで感想を發表しようとしている。(発言・観察・ノート)【関】 |
| | つかむ | 2 | ・学習課題を確認し、見通しをもつ。 ・新出漢字を確認し、難語句や事項を調べる。 | 文章の大まかな内容を読みとり、キーワード、中心文にサイドラインを引く。 大まかな内容について話し合う。 | ・文章の大まかな内容をとらえ、キーワード、中心文について考えている。(観察・ノート)【読】 |
| 第二次 | 3 | ・文章全体を3つの大きなまとまりに分ける。 ・話題提示文を読みとり、自分の考えをまとめる。 | 文章を3つのまとまりに分け、話題提示文にサイドラインを引く。 文章構成や話題提示文に対する自分の考えについて話し合う。 | | ・文章全体を3つの大きなまとまりに分けている。(ワークシート)【言】 ・内容を正しく押さえながら話題提示文を読みとり、自分の考えをまとめている。(ワークシート・発言)【読】 |
| | ふ | 4 | ・特集作りのきっかけを読みとり、自分の考えをまとめる。 | 特集作りのきっかけをワークシートにまとめる。 特集作りのきっかけに対する自分の考えについて話し合う。 | ・特集作りのきっかけを読みとり、自分の考えをまとめている。(ワークシート・発言)【読】 |
| | か | 5 | ・番組スタッフの役割を読みとり、自分の考えをまとめる。 | 番組スタッフの役割をワークシートにまとめる。 番組スタッフの役割に対する自分の考えについて話し合う。 | ・番組スタッフの役割を読みとり、自分の考えをまとめている。(ワークシート・発言)【読】 |
| | め | 6 | ・特集作りの過程を読みとり、自分の考えをまとめる。 | 内容のまとまりを押さえながら特集作りの過程をワークシートにまとめる。 特集作りの過程に対する自分の考えについて話し合う。 | ・特集が作られるまでの過程を順序に沿って読みとり、自分の考えをまとめている。(ワークシート・発言)【読】 |
| | る | 7 | ・特集作りの各過程で大事なことや気をつけること、要旨を読みとり、自分の考えをまとめる。 | 特集作りの各過程で大事なことや気をつけること、要旨を読みとり、ワークシートにまとめる。 各過程で大事なことや気をつけること、要旨に対する自分の考えについて話し合う。 | ・特集作りの各過程で大事な点や気をつけること、要旨を読みとり、自分の考えをまとめている。(ワークシート・発言)【読】 |
| | 第三次 | まとめる | 8 | ・読みとったことを生かして「私の特集」というテーマの企画書を書く。 | 読みとったことをもとに、誰に、どんな目的で伝えるかを明らかにしながら企画書を書く。 自分の考えと友達の考えを比べながら企画書について話し合う。 |
| 第四次 | 9 | ・前時までの学習と、「工夫して発信しよう」から、情報発信までの手順を確認し、企画会議を開く。 | 企画書をもとに企画会議を開き、情報発信の手順をまとめる。 相手意識・目的意識をもち、情報発信の効果的な方法について話し合う。 | | ・自分たちの力で情報を発信していきたいという願いをもっている。(発言・観察)【関】 ・発信する目的に沿った企画書を書いている。(企画書)【書】 |
| | 10 | | | | |
| | 11 | ・計画に従って取材し、「編集して伝える」を参考に、編集する。 | 計画に沿って取材をし、編集する。 伝えたいことを中心について話し合う。 | | ・目的に応じて、必要な材料を集めている。(観察)【書】 ・教材文から学んだ編集や発信の方法を生かし、原稿を書いている。(発言・観察・原稿)【書】 |
| | 12 | | | | |
| 第五次 | 13 | ・情報を発信し、発信側の意図と受信側の感想を交流する会を開く。 | 発信の意図や工夫点を明らかにして発表する。 工夫した点のよさを中心に話し合う。 | | ・自分の伝えたいことや意図が伝わるように、話の組み立てを工夫しながら発表している。(発表)【話・聞】 |
| | 14 | ・自己評価したものをもとに情報の発信や受信について話し合う。 | 活動を振り返り、自己評価する。 情報の発信や受信について話し合う。 | | ・学習を振り返り、情報の発信と受信について考えを深めている。(発言・観察・ノート)【関】 |

6 指導計画 (14時間)

| 段階 | 時間 | 学 習 活 動 | 一人学び | 学び合い | 具体的評価規準(評価方法) |
|-----|-----------------------------------|---|---|--|--|
| 第一次 | 1 | ・単元名、リード文、題名、写真から学習の構えをもつ。 ・全文を通読し、初発の感想を書く。 ・学習計画を立てる。 | 初めて知ったことや興味をもったことを感想として書く。 | 初発の感想をもとに、学習計画について話し合う。 | ・戦争や平和について、知っていることを交流している。(発言・観察・ノート)【関】 ・単元構成を把握し、これからの活動に見通しをもっている。(観察)【関】 |
| | 2 | ・学習課題を確認し、見通しをもつ。 ・新出漢字を確認し、難語句や事項を調べる。 | 文章の大まかな内容を読みとり、キーワード、中心文にサイドラインを引く。 | 大まかな内容について話し合う。 | ・文章の大まかな内容をとらえ、キーワード、中心文について考えている。(観察・ノート)【読】 |
| 第二次 | 3 | ・文章全体を4つの大きなまとまりに分ける。 ・話題提示文から筆者の思いを読みとり、自分の考えをまとめる。 | 文章を4つのまとまりに分け、話題提示文にサイドラインを引く。 | 筆者の思いに対する自分の考えについて話し合う。 | ・文章全体を4つの大きなまとまりに分けている。(ワークシート)【言】 ・内容を正しく押さえながら、筆者の思いを読みとり、自分の考えをまとめている。(ワークシート・発言)【読】 |
| | 4 | ・原爆ドームがたどった歴史を読みとり、自分の考えをまとめる。 | 時間の経過に沿って、原爆ドームがどのような歴史をたどってきたのかをワークシートにまとめる。 | 原爆ドームがたどった歴史に対する自分の考えについて話し合う。 | ・具体的事例について事実や時間の流れを押さえ、原爆ドームがたどった歴史を読みとり、自分の考えをまとめている。(ワークシート・発言)【読】 |
| | 5 | ・原爆ドームが世界遺産に指定されるまでの過程を読みとり、自分の考えをまとめる。 | 時間の経過に沿って、原爆ドームが世界遺産に指定されるまでの過程をワークシートにまとめる。 | 世界遺産に指定されるまでの過程に対する自分の考えについて話し合う。 | ・具体的事例について事実や時間の流れを押さえ、原爆ドームが世界遺産に指定されるまでを読みとり自分の考えをまとめている。(ワークシート・発言)【読】 |
| | 6 | ・筆者の伝えたいことを読みとり、自分の考えをまとめる。 | 筆者が最も伝えたいことをワークシートにまとめる。 | 筆者の伝えたいことに対する自分の考えについて話し合う。 | ・叙述をもとに筆者が最も伝えたいことを読みとり、自分の考えをまとめている。(ワークシート・発言)【読】 |
| 第三次 | 7 | ・要旨をまとめ、自分の考えを交流する。 | これまで読みとったことをもとに要旨をまとめる。 | 要旨に対する自分の考えについて話し合う。 | ・要旨に対する自分なりの考えをまとめている。(発言・観察・ワークシート)【読】 |
| 第四次 | 8 | ・戦争や平和について考え、発信する目的と相手、課題、方法を決める。 | 戦争や平和について話し合う。 | 戦争や平和について、自分が明らかにしたいことを具体化する。 | ・「平和のとりでを築く」の内容を意識しながら、「平和」について考えようとしている。(発言・観察・ワークシート)【関】 |
| | 9 | ・現在の時点での自分の考えを「仮の要旨」としてまとめ、それに説得力をもたせるための材料を集める。 | 自分の考えを「仮の要旨」としてまとめる。 | 要旨に説得力をもたせるために必要な材料を集める。 | ・自分の要旨に説得力をもたせるために必要な材料を集めている。(観察・ワークシート)【書】 |
| | 10 | | | | |
| | 11 | ・集めた材料をもとに「仮の要旨」を「確定した要旨」にまとめ直す。 | 集めた材料をもとに、必要なものを選択し「確定した要旨」にまとめ直す。 | 自分の考えを効果的に伝えるための構成を考える。 | ・集めた材料の中から必要なものを選択し、自分の意見が伝わるように組み立てを考えている。(観察・ワークシート)【書】 |
| 12 | ・戦争や平和について自分の考えを書きまとめたものを推敲し発信する。 | 戦争や平和について自分の考えを書きまとめる。 | 互いの書きまとめたものについて、話し合う。 | ・具体的事例と意見、反対意見とそれに対する反論などを、読み手に分かるように書き分けている。(書きまとめたもの)【書】 | |
| 13 | ・この単元での学習を振り返る。 | 単元全体を振り返り、「平和」について思いを交流したことの意義について話し合う。 | | ・自分の学習に対して達成感、満足感を感じたり、学習した意味を見いだしたりしている。(観察・発言・ノート)【関】 | |
| 14 | | | | | |

7 文章構成図

| 段落 | 構成 | キーワード |
|-----|---|---|
| 初め | <p>話題提示</p> <p>あるニュース番組で、防災訓練が特集として取り上げられるまでの過程を見てください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ニュース ・特集 ・過程 |
| 中 | <p>話題選び</p> <p>多くの人の関心をよぶ話題だと考え、富士山の噴火に備えた初めての訓練を特集として伝えることにした。</p> <p>会議 1</p> <p>なぜ富士山の噴火に備えた訓練がこれまでなかったのか、なぜ訓練をすることになったのか、二つの疑問を中心に取材しようとした。</p> <p>取材</p> <p>取材で最も大切なのは正確さ。</p> <p>取材で分かったこと</p> <p>住民感情から、防災訓練を行うことにふみ切れなかった。県は住民の理解を得られると判断し、噴火に備えた訓練をすることにした。</p> <p>会議 2</p> <p>どういう内容を中心に伝えるかを改めて確かめた。</p> <p>撮影</p> <p>画面のどこかに富士山がうつるようにカメラを向けた。ひなん訓練にはアナウンサーも参加し住民の声を聞いた。</p> <p>編集</p> <p>訓練がなぜ実現したか、訓練に参加した住民はどう思ったか、答えが分かるように編集しようと考えた。</p> <p>放送用原稿</p> <p>放送用原稿の書き方には工夫が必要。</p> <p>放送</p> <p>「火山をよく知ることが、いちばんの防災です。」取材を重ねてきて最も伝えなかったこと。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・初めて ・おどろき ・関心をよぶ話題 ・さっそく ・放送の十六日前 ・問い合わせ ・資料集め ・正確さ ・危機感がない ・不安を与える ・積極的ではない ・現在も活動中の火山 ・訓練の大切さ ・ビデオ映像 ・誰に、どこを ・放送の八日前 ・さつえい ・映像も大きな役割 ・放送の二日前 ・観測結果 ・参加した人の声 ・同時に ・結論 理由 ・主述間を空けない ・地図や表 ・いよいよ |
| 終わり | <p>筆者のまとめ</p> <p>見ている人に知らせるねうちがあると思うことを選び、知って考えてほしいという願いを込めてニュース番組を作っているのです。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ねうち ・願い |

要旨

番組作りの出発点は、番組作りを行う人、つまり伝えたいと考えた人が驚きや疑問を抱くことである。その驚きや疑問を的確に伝えるためには、綿密な取材が必要であるとともに、取材を通して見えてきた答えを分かりやすく伝えるために編集をし、伝えたいことの内容を明らかにしていくことが大切である。

そして制作者は、どの過程においても「伝えたい」「分かってほしい」という願いを持続し、それをふくらませていくことが何より重要である。

7 文章構成図

| 段落 | | 構 成 | キーワード |
|-------------|------------------|--|---|
| 初 め | 話 題 提 示 | <p>話題提示 原爆ドームに対する筆者の思い</p> <p>わたしは、建築されてからこの日まで、この傷だらけの建物がたどってきた年月を思わずにはいらなかった。()</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドーム ・建造物 ・わたし |
| | | <p>説明 1 原爆ドームがたどった歴史</p> <p>・1915年、物産陳列館として完成。多くの市民に親しまれる。()</p> <p>・1945年、原子爆弾投下により建物は全焼。れんがと鉄骨の一部は残る。()</p> <p>・戦後間もないころ、原爆ドームを保存するか取り壊すか議論が続く。()</p> <p>・1960年、被爆が原因と見られる一少女の日記に後押しされて、市民も役所も「原爆ドーム永久保存」に立ち上がる。()</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・物産陳列館 ・原子爆弾 ・保存反対論 ・一少女の日記 ・産業奨励館 ・市民、役所 ・原爆ドーム永久保存 ・全国 ・その後 ・今 |
| 中 | 説 明 2 | <p>説明 2 世界遺産への道のり</p> <p>・1992年、原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まる。()</p> <p>・決定の知らせが届いたとき、わたしは、世界の人々の平和を求める気持ちの強さを改めて感じた。()</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産 ・全国 ・不安 ・心配は無用 ・わたし ・世界の人々 ・平和を求める気持ちの強さ |
| | | <p>まとめ 筆者の訴え</p> <p>・原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。()</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・記念碑 ・なのである ・人の心 ・平和のとりでを築く ・世界の遺産 ・なのだ |
| 終 わ り | ま と め | | |

要旨

原爆ドームは、後世まで、それを見る世界中の人々の心に、核兵器の使用禁止、さらには戦争を許さず、平和を守っていく強い意志を築くための世界の遺産なのだ。

8 本時の指導 (6 / 14)

(1) 目標

特集が作られるまでの過程を読みとり、自分の考えをもつことができる。

(2) 指導にあたって

「つかむ」段階では、「特集が作られるまでの過程を読みとり、自分の考えをまとめよう。」という課題を確認した後、「時間を表す言葉」「文末表現(～しました)」「過程」という読みの視点を確認する。「ふかめる」段階では、指名読みの後、特集が作られるまでの過程と時間を表す言葉にサイドラインを引き、ワークシートにまとめる一人学びを行い、全体で確認する。次に、読みとったことをまとめ、特集が作られるまでの過程やそれに対する自分の考えについて学び合う。「まとめる」段階では、学習した内容を6年生に伝えることで学習の交流を図る。

(3) 展開

| 5 学 年 | | | |
|--|---|--|-----|
| 教師の支援 | 学習活動 ○主発問 ・児童の反応例 | 段階 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・前時想起から、本時の学習課題につなげる。 ・「時間を表す言葉」「文末表現(～しました)」「過程」に着目できるように板書に表し、確認する。 | <p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 特集が作られるまでの過程を読みとり、自分の考えをまとめよう。 </div> <p>2 読みの視点について確認する。</p> | つ か む | |
| | 4分 | <ul style="list-style-type: none"> ・③段落について教師と一緒に読みとりながら、過程と時間を表す言葉にサイドラインを引き、まとめていくという一人学びの進め方を確認させる。 ・指名読み ・音読を聞きながら、読みの視点に沿ってサイドラインを引かせる。 ・全員が一人学びを終わったならば、まとめたことについて、学習リーダーを中心に話し合わせる。 | |
| | | | 38分 |

8 本時の指導 (6 / 14)

(1) 目標

筆者の伝えたいことを読みとり、自分の考えをまとめることができる。

(2) 指導にあたって

「つかむ」段階では、「筆者の伝えたいことを読みとり、自分の考えをまとめよう。」という課題を確認した後、「筆者の伝えたいこと」「文末表現」という読みの視点を確認する。「ふかめる」段階では、指名読みの後、中心文にサイドラインを引き、そう考えた理由をワークシートにまとめる一人学びを行う。次に、⑫段落と関連させながら中心文の叙述の意味について全体で学び合う。そして、読みとったことをもとに筆者の伝えたいことに対する自分の考えをまとめ、お互いの考えについて学び合う。「まとめる」段階では、学習した内容を5年生に伝えることで学習の交流を図る。

(3) 展開

| 6 学 年 | | |
|-------------|---|---|
| 段階 | 学 習 活 動 ○主発問 ・児童の反応例 | 教 師 の 支 援 |
| つかむ 4分 | <p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>筆者の伝えたいことを読みとり、自分の考えをまとめよう。</p> <p>2 読みの視点について確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・前時想起から、本時の学習課題につなげる。 ・「筆者の伝えたいこと」「文末表現」に着目できるように、板書に表し、確認する。 |
| ふかめる 38分 | <p>3 ⑫⑬段落を音読する。</p> <p>4 内容を読みとる。</p> <p>(1) 中心文にサイドラインを引き、そう考えた理由をワークシートにまとめる。 【一人学び】</p> <p>(2) 中心文とそう考えた理由について話し合う。 【学び合い】</p> <p>○中心文とその理由を発表して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑬段落の「原爆ドームは～なのだ。」です。 ・説明文では、最後の段落に筆者の考えが書いてあるからです。文末が「なのだ」で表現が強いからです。題名が書いてあるからです。 <p>(3) 中心文の叙述の意味について、話し合う。 【学び合い】</p> <p>○「それ」とは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドームです。 <p>○「人の心」には「平和」の他にどんなものが生まれることがあるのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争、欲望、憎しみです。 <p>○「平和のとりで」とは何から何を守るためのとりでですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(戦争、原子爆弾、核兵器、惨害) から (平和、幸せ、命、家族、未来) を守るものだと思います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指名読み ・音読を聞きながら、読みの視点に沿ってサイドラインを引かせる。 ・全員が一人学びを終わったならば、中心文について、学習リーダーを中心に話し合わせる。 ・題名との関係や文末表現から、⑬段落の最後の一文が中心文であることを確認する。 ・⑫段落とも関連させながら、中心文の叙述を丁寧に読みとり、筆者の伝えたいことを深められるようにする。 |

| | | |
|--|--|-----------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過を押さえながら、過程を板書にまとめる。 ・「取材」「撮影」「編集」等の語句の意味を確認することで、各過程についての理解を深めさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・特集が作られるまでの過程で分かったことや気がついたこと、思ったことに視点をあて、まとめさせる。 ・全員が一人学びを終わったならば、自分の考えについて、学習リーダーを中心に話し合わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えと同じところや違うところを比べながら聞かせる。 ・自分と違う考えについて、具体的にどこがよかったのか根拠を明らかにしながら話し合わせる。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(2) 特集が作られるまでの過程について話し合う。 【学び合い】</p> </div> <p>○④～⑪段落には、どのような時間を表す言葉と過程が書いてありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・④⑤⑥段落は、取材です。 ・⑦段落は、放送の八日前で、会議2です。 ・⑧段落は、撮影です。 ・⑨段落は、放送の二日前で、編集です。 ・⑩段落は、同時にで、放送用原稿です。 ・⑪段落は、午後十時二十分で、放送です。 <p>5 自分の考えをまとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(1) 特集が作られるまでの過程について自分の考えをワークシートにまとめる。 【一人学び】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(2) まとめたことを発表し、お互いの考えについて話し合う。 【学び合い】</p> </div> <p>○特集作りについてどのように考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの過程があり、たくさんの方が関わって特集が作られていることが分かりました。 ・8時間分の特集のために、6時間分も撮影したり、何度も会議を開いたりして、多くの時間をかけて作られていることが分かりました。 | ふかめる 38分 |
| <p>具体の評価規準</p> <p>【ワークシート・発言】</p> <p>Aー特集が作られるまでの過程を読みとり、内容と結び付けながら自分の考えを書いている。</p> <p>Bー特集が作られるまでの過程を読みとり、自分の考えを書いている。</p> <p>Cの児童への手立て</p> <p>板書や教科書をもとに、特集が作られるまでの過程を確認させ、それに対してどのように考えたかを書くようにさせる。</p> | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・一つの学習集団としての意識を高めるために、学習内容を6年生に伝えさせ、お互いに聞き合わせる。 ・次時への学習意欲を高めるために、番組スタッフの努力や願いについて読みとることを知らせる。 | <p>6 自己評価をし、学習したことを6年生と交流し合う。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p> | まとめる 3分 |

| | | |
|------------|--|---|
| ふかめる | <p>5 自分の考えをまとめる</p> <p>(1) 筆者の伝えたいことについて、自分の考えをワークシートにまとめる。 【一人学び】</p> <p>(2) まとめたことを発表し、お互いの考えについて話し合う。 【学び合い】</p> <p>○筆者の伝えたいことについて、どのように考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の心の中で、戦争、欲望、憎しみが生まれるので、世界中のみんながそのような気持ちや考えをもたなければ戦争はおこらないと思いました ・私たちの心の中に、戦争、原子爆弾、核兵器、惨害から平和、幸せ、命、家族、未来を守るための平和のとりでを築いていかなければならないと思いました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の伝えたいことに対する自分の考えをまとめさせる。 ・全員が一人学びを終わったならば、まとめたことについて、学習リーダーを中心に話し合わせる。 ・自分の考えと同じところや違うところを比べながら聞かせる。 ・自分と違う考えについて、具体的にどこがよかったのか根拠を明らかにしながら話し合わせる。 |
| | <p style="text-align: center;">具体の評価規準</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート・発言】</p> <p>Aー筆者の伝えたいことを読みとり、内容と関連させながら自分なりの言葉で考えをまとめている。</p> <p>Bー筆者の伝えたいことを読みとり、自分の考えをまとめている。</p> <p>Cの児童への手立て 板書や教科書をもとに、中心文や筆者が伝えたいことを確認させ、それに対してどのように考えたかをまとめるようにさせる。</p> | |
| | <p>(3) まとめたことを修正する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えのよいところを参考にして、自分のまとめたことを修正させる。 |
| まとめる 3分 | <p>6 自己評価をし、学習したことを5年生と交流し合う。</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・一つの学習集団としての意識を高めるために、学習内容を5年生に伝えさせ、お互いに聞き合わせる。 ・次時への学習意欲を高めるために、要旨をまとめ、自分の考えを交流することを知らせる。 |

(4) 板書計画

| | |
|--------------------------------------|---|
| ニュース番組作りの現場から | |
| 清水 建宇 | |
| 課題 特集が作られるまでの過程を読みとり、自分の考えをまとめよう。 | |
| 読みの視点 | |
| | <ul style="list-style-type: none">・時間を表す言葉（○日前）・文末表現（～しました）・過程（番組スタッフがしたこと） |
| 【さつそく】 | |
| 【放送の十六日前】 | |
| 【放送の八日前】 | |
| 【放送の二日前】 | |
| 【同時に】 | |
| 【午後十時二十分】 | |

一、会議 1 ③
二、取材 ④⑤⑥
三、会議 2 ⑦
四、さつえい ⑧
五、編集 ⑨
六、放送用原稿 ⑩
七、放送 ⑪

(4) 板書計画

平和のとりでを築く

大牟田 稔

課題 筆者の伝えたいことを読みとり、自分の考えをまとめよう。

読みの視点

- ・筆者の伝えたいこと
- ・文末表現

中心段落 (13)

原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための

世界の遺産なのだ。

理由

- ・最後の段落
- ・「なのだ」
- ・題名

原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

原爆ドーム

- ・戦争
- ・憎しみ
- ・欲望

- ・戦争
- ・原子爆弾
- ・核兵器
- ・惨害

から

- ・平和
 - ・幸せ
 - ・命
 - ・家族
 - ・未来
- を守る

(4) 板書計画

ニュース番組作りの現場から

清水 建宇

課題 特集が作られるまでの過程を読みとり、自分の考えをまとめよう。

読みの視点

- ・時間を表す言葉（○日前）
- ・文末表現（くしました）
- ・過程（番組スタッフがしたこと）

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|
| 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|

【放送の十六日前】

【さっそく】

【放送の八日前】

【放送の二日前】

【同時に】

【午後十時二十分】

一、会議1（取材する内容） ③

二、取材（問い合わせ、資料集め） ④⑤⑥

三、会議2（中心となる内容） ⑦

四、さつえい（目で見て分かるように） ⑧

五、編集（ビデオテープをまとめる） ⑨

六、放送用原稿（ディレクターがアナウンサーのために） ⑩

七、放送（最も伝えたかったこと） ⑪

(4) 板書計画

平和のとりでを築く

大牟田 稔

課題 筆者の伝えたいことを読みとり、自分の考えをまとめよう。

読みの視点

- ・筆者の伝えたいこと
- ・文末表現

中心段落 (13)

原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための

世界の遺産なのだ。

理由

- ・最後の段落
- ・「なのだ」
- ・題名

原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

原爆ドーム

- ・戦争
- ・憎しみ
- ・欲望

- ・戦争
- ・原子爆弾
- ・核兵器
- ・惨害

から

- ・平和
 - ・幸せ
 - ・命
 - ・家族
 - ・未来
- を守る